

今、阪神・淡路クラスの地震が起きたら.....

私たちは遠隔から切れ目のない医療を
届けることを目指します

2025年1月16日

福島 直央

ファストドクター株式会社執行役員 VP of Public Policy



福島 直央

ファストドクター株式会社

執行役員 公共政策・地域医療・広報担当

静岡大学 情報学部 客員教授

山口市 CIO補佐

神奈川県 デジタル戦略本部室 DX推進アドバイザー

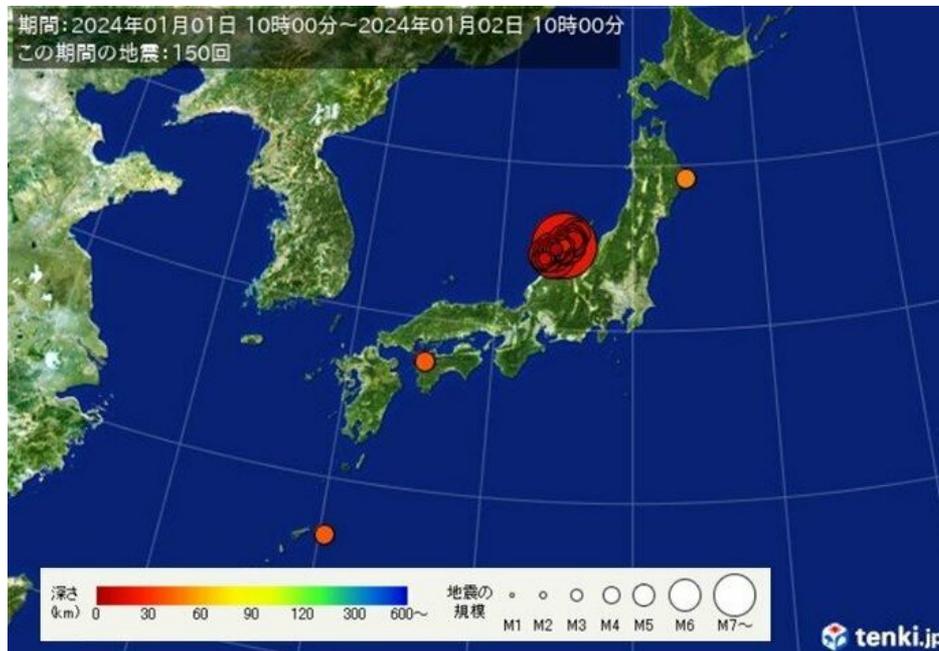
神戸市 レジリエンステクノロジーオフィサー

AI防災協議会 理事

防災DX官民共創協議会 課題特定部会 副部会長

1月1日に令和6年能登半島地震が発生

- 1月1日16:10分に本震(M7.6、震度7)
- 当日中に前震を含めて M6以上の地震が6回、震度5以上も9回。



出典: tenki.jp

1月2日12時に能登半島地震向けのサービスを開始

【体の不調】に関する相談

- 1月2日12時～1月4日17時。24時間対応（1月8日24時まで延長して終了）
- 急性期オンラインを活用した医療相談を実施

【こころの不調】に関する相談

- 1月2日12時～1月8日24時。9時～24時対応（1月15日24時まで延長して終了）
- メディカルカウンセリングサービスを活用したメンタル面のケアを実施

発災から20時間で無償サービス提供を開始

+ファストドクター

令和6年能登半島地震で被災された方へ
遠隔での医療相談窓口

この度の地震にて被災された方々には、
心からお見舞い申し上げます。

十分なサポートを得られていない被災者の方に向けて、医師との医療相談窓口・診察受付をご用意しています。

医師への医療相談したい方へ

こころの不調を感じている方へ

避難所生活で心がけること

外傷や体調不良など
医師へ医療相談をしたい方へ

緊急を要する外傷/体調不良の場合には今すぐ「119」で相談をしてください。

ビデオ通話で医師に医療相談・受診したい方は、下記の窓口からお申し込みください。

利用例

- 普段飲んでいる薬を紛失し、対応を医師に相談したい
- 発熱、腹痛、頭痛などの緊急を要さない体調不良や外傷の相談

ビデオ通話で
医師に医療相談/受診する

相談実績

【体の不調】に関する相談

相談内容の内訳	常用薬に関する相談 診察に切り替え処方 感冒症状に関する相談 車中泊に伴うエコノミー症候群に関する不安 その他(感染症、腹痛など)
---------	---

【こころの不調】に関する相談

相談内容の内訳	気分(不安、緊張、涙が止まらない、落ち着かない) 睡眠(眠れない、眠るのが怖い、悪夢を見る、中途覚醒) ずっと揺れている感覚がする 家族のメンタルについての相談 その他
---------	--

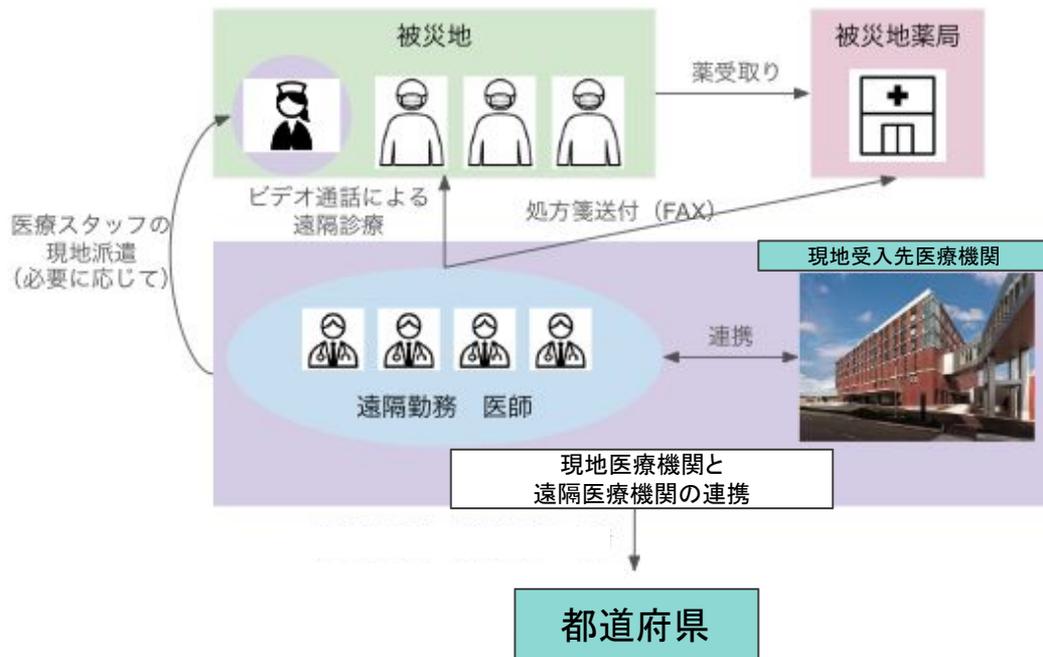
今後の動き

- 今回は遠隔医療ではなく、遠隔医療相談を実施
 - オンライン診療を災害時に行うスキームが存在しなかった
 - さすがに急性期の被災者からお金は取るのは無い
- DMATと連携して、オンラインからの支援も対象にできる方法を模索中
- 現地医療機関もリソースが不足するので、その支援に入りつつ、避難所や自宅避難の方の健康サポートにつなげる方法を構築中

- さらに・・・
AIを活用して、誰もがここに連絡すれば医療サポートを受けられるという体制を、
平時から

参考:遠隔地のリソースと現地のリソースを連携仕組みも構築中

- 遠隔の医師が現地医療機関に所属して、オンライン診療を実施
- オンラインで解決できないものは、現地医療機関に搬送





生活者の不安と、医療者の負担をなくす

Fast DOCTOR

ファストドクター株式会社

福島 直央 nao.fukushima@fastdoctor.jp